



梨花

題字 / 故西尾邑次
元名誉会員揮毫

第 52 号

2016年9月15日発行
東京鳥取県人会事務局
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-6-3
都道府県会館10F
電話 03(5212)9178
FAX 03(5212)9079
発行責任者 / 萬治隆生
編集 / 県人会広報部
<http://www.pref.tottori.lg.jp/tokyokenjin>

平成28年東京鳥取県人会総会と懇親の集いは、10月10日(月祝)都市センターホテルにて開催を決定！県出身の民謡歌手佐藤弘美さんの民謡が花を添える！

去る7月11日(月)東京鳥取県人会平成28年度の第2回幹事会が都道府県会館4階会議室において16時より執り行われた。

出席者は三役を含む幹事26人と事務局5名。まず初めに、吉井副部長の開会宣言に始まり、議事進行は萬治隆生会長が行い、冒頭に総会と懇親会の日取りが先に都市センターホテルで予定していた9月25日(日)を急遽10月10日(月祝)に変更したことが告げられた。理由は、本県で行われる全国手話コンテスト大会に皇族のご臨席が有り、平井知事がその接待役を務めるためというもので、本会での知事の欠席はかつて無く、これはやむを得ぬ変更と全員が了承した。事務局よりその予算案と運営方針が発表され、ステージゲストには本県出身の民謡歌手佐藤弘美さんの出演が決定した。

なお、各都会中間報告では足立(総務部会)、林田(広報部会)、福井(交流部会)各部会長より現況報告があった。総務部会では、年初の賀詞交換会に引き続き、県ゆかりの同窓会・同郷会の意見交換会が持たれ会員増強の一役にもなったことが報告され、広報部会では、「梨花50号記念と県人会110周年記念」の冊子が51号と同時に発刊され数多くのリポートがあったと報告された。又、交流部会ではサッカーから芸術鑑賞、歌舞伎鑑賞等多くのイベントを用意して、益々県人会の活性化に寄与していることを印象づけた。毎度のことながら、会員の増強策が悩みの種であることが事務局から報告され、新卒の寮生など追跡勧誘の方策が併せて語られた。

(遠藤隆司)



▲懇親会風景

得ぬ変更と全員が了承した。事務局よりその予算案と運営方針が発表され、ステージゲストには本県出身の民謡歌手佐藤弘美さんの出演が決定した。

佐藤弘美さんのこと

「民謡弘美会」会主

昭和63年、佐藤弘美の芸名を受ける。鳥取市に拠点を置き、民謡教室を開催すると共に、自身の歌手活動としても民謡ショーを開催し、民謡の普及活動に尽力している。

大切にしていることは、「先人から受け継

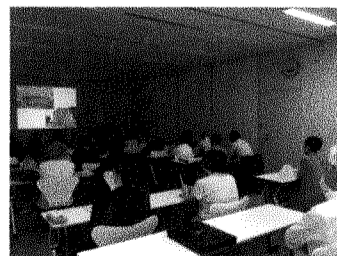


交流部会

沢山のイベント

交流部会では春から活発にイベントが続いています。

県人会囲碁愛好家の第21回囲碁大会は、昨年春に続いてマスコミ囲碁同好会との親睦対抗戦(5月14日、ダイヤモンド囲碁サロン・写真左)が行われ、鳥取側の32勝24敗と大熱戦でした。秋の大会・懇親会は11月26日(ダイヤモンド囲碁サロン)に予定されています。



10月23日(国立劇場)に予定されています。今年

サッカーのガイナーレ鳥取の応援(写真)では、東京圏での初戦となるガイナーレ鳥取対YSCC横浜(5月15日三ツ沢球技場)に県人会から約70人が駆けつけました。試合は1-0で勝ち、近くでの祝勝交流会も盛り上がりました。



余勢をかって再度駆けつけた首都圏第2戦の対SC相模原戦(5月29日、相模原ギオンスタジアム)は0-1の惜敗で、その後



県人会美術鑑賞会(写真下)は6月6日に行われ、ルノワール展・三宅一生展(国立新美術館)を鑑賞しました。昨年に続き、南雄介副館長(鳥取西高OB)の講義を別室で聞いてから鑑賞するという嬉しい企画に約30人が参加し、鑑賞後は館内のポール・ボキューズミューゼで夕食交流会となりました。

この他、鳥取県にゆかりの人物・話題を軸に、講演会も随時企画する予定です。この他、県ゆかりの店・スポーツ・芸術関係で集まり県人会員の交流を図る機会も検討しています。

(福井宏一郎)

東京都鳥取県人会の皆様、日頃は大変お世話になり有難うございます。よくご趣味はと尋ねられることと面白いのですが、登場する地名は「神様とお話しすることです。全て鳥取県内に実際に存在します。なにも無理矢理初期大和朝廷とのつながりを考慮して九州や和歌山の似通った地名を当てはめる必要はなく、鳥取と鳥根県で完結する物語です。

鳥根の歴史研究家は古事記については



「神々の生まれた処」

(株)abaris代表取締役
谷野重美

随想リレー

か変な名前だなーっと思っていました。語源を調べてみると、日本最古の書物の古事記中の「葦原の中つ国」の中つ国からきているようです。一般的な解釈では豊前中津野と言われていますが、そもそも古事記全体の約7割が鳥取県、残りの3割が鳥根県出雲地方のことが書かれてお

国譲りの名に変えた出雲地方は略奪する歴史ですが、勝利した側は自分たちの都合のよいように内容を変えていくことができるので、それは敗れた側の人物名と地名です。そのことを頭に入れて読み解いていくと、神話という物語に置き換えら

●山陰を再発見
厳選された「面白い」「匠の人」「手作り工芸」を
季刊で紹介「こだわり情報誌」

きらり

発行元 (有)グリーンフィールズ
購読に関するお問い合わせは、下記取扱い書店へ。
東京新宿紀伊国屋書店 TEL 03-3354-0131
<http://s-kirari.net/>

株式会社 内藤音楽事務所
Naito Music Enterprise

代表取締役 藤井田多恵子

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5
朝日九段マンション1003
TEL 03-6272-4074/FAX 03-6272-4075
E-MAIL: info@naito-m-e.co.jp
URL: <http://www.naito-m-e.co.jp/>

不動産取引・売買・仲介・賃貸

拓産グループ
株式会社 秀拓

代表取締役 米原恭淳
埼玉県川越市市場新町14-2
TEL 049-233-1103 FAX 049-233-1104

好きな音楽を仕事に活かす

国立音楽院

理事長 新納重臣
(米子市大篠津町出身)
〒154-0001 東京都世田谷区池尻3-28-8
TEL 03-5431-8085 (代)
URL: <http://www.kma.co.jp>

地域の夢、お客様の夢をかなえる
創造的なベストバンク

山陰合同銀行 東京支店
支店長 小川高志

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町15-6
TEL 03-3669-0211 FAX 03-3639-5250
URL: <http://www.gogin.co.jp>

地方創生はなし(その4)

地方創生の原点を智頭町で発見!
パン屋「タルマリー」を紹介

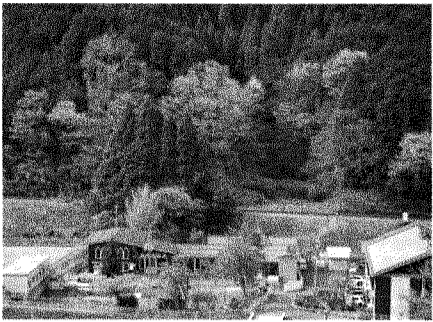
幹事 山田雅行

いま、鳥取県智頭町にあるパン屋さんがメディアで話題になってます。「タルマリー」というその店名、何かと思つたら、経営者の渡邊格さん(45歳)・麻里子さんご夫妻の名前「イタル」と「マリコ」から名付けられたそう。



▲写真:川瀬一絵(ゆかい)

このたびは、お2人のパン作りへの情熱といたら生半可ではないということを紹介したいのです。サラリーマンだった渡邊格さんがパン屋を始めようと決心したのは31歳の時。初めは千葉県いすみ市でスタートし、パンを作るための最良の水を求めて岡山県真庭市を経て2015年に鳥取県智頭町に移住されました。念願のビール製造にも成功し、「パン・ビール・カフェ」がタルマリーさんの事業の3本柱となりました。



「パンを作ればつくるほど、地域社会と環境が良くなっていく」を目標に地産、自然栽培、自然製粉のパン作りを励み、地元の方々に溶け込み日々営業されています。

麻里子さんは智頭町との関わりについて「自分たちの計画に対して、町全体が動いてくれようとしているんです。こんな小さなパン屋が考えたことで社会が動こうとしているなんて面白いですね。町の人の協力を得ながら、究極的に良いものを作ることで、環境や生活が良くなって、人が集つたり、住みやすくなるというモデルを作れたら良いなと思つています」と語ってくれました。

タルマリーさんが求めてきた良い水、自然をフィールドにした教育、環境保全などは我がふるさと鳥取が過去から育んできた資産です。タルマリーさんが原点を気づかせてくれました。これこそ、いま求められている地方創生と考えます。

東京鳥取県人会110周年「腐る経済」(講談社)史随想リーの中で、10名近くの諸先輩方が鳥取県は「豊かな自然に恵まれています」と記載されています。タルマリーさんは移住されてきてまだ2年目ですが、故郷の誇りとして応援していきたいものです。



▲漫画/かわにしよと

2013年には渡邊格さんの著書「田舎のパン屋がみつ

米子高専首都圏同窓会開催

常任幹事 藤井田 多恵子



6月11日(土) 15時より霞が関ビル35階東海大学校友会館にて、第8回米子高専首都圏同窓会が開催されました。会員28名、来賓8名合計36名でした。来賓は本校水室新校長他2名、本部同窓会、関西中部各支部より計3名、都内在住の元校長1名、県人会からは市田会長と小学校的同級生の縁で藤井田が出席しました。総会は、全ての議案が滞り

県人のお店

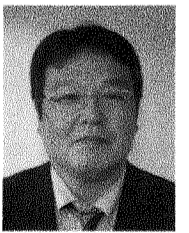
鳥取ゆかりの珈琲の「極」

「丸福珈琲店」



▲創業者/伊吹貞雄さん

この3月、銀座数寄屋橋角に東急プラザがオープンした。選りすぐりの名店125店が名を連ねる。その中に鳥取県ゆかりの「丸福珈琲店」の名がある。6階の新橋寄り突き当たり茶系統でまとめられた高級感たよよう広々とした落ち着いた喫茶店がそれである。(写真上)90席を容れるというから凄い。



▲現社長/伊吹信一郎さん

現在の丸福珈琲店の本拠地は大阪だが、かつて鳥取市内では珈琲店といえば「丸福」がきまっておりました。丸福はスタバやドトールではなかった。創業者で鳥取市出身の伊吹貞雄さん(写真上)は、戦前に銀座で流行り始めた珈琲とめられた高級感たよよう広々とした落ち着いた喫茶店がそれである。(写真上)90席を容れるというから凄い。

小説「野菊の墓」の舞台 予定です。

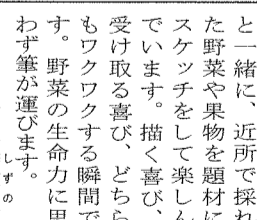


小説「野菊の墓」の舞台予定です。松戸市は二十世紀梨発祥の地で倉吉市と交流を行っています。「鳥取とゆかり」が開催され、今年の入賞者が鳥取市鹿野町出身の岡田菜里奈さん(明治大学学生松戸市在住)が選ばれました。岡田さんは、矢切観光大使として1年間活動されます。

鳥取県ゆかりの同窓会 同郷会意見交換会

去る6月1日に、東京鳥取県人会と鳥取県東京本部共催の鳥取県ゆかりの同窓会・同郷会意見交換会が開催されました。同窓会は17団体、同郷会は5団体の代表の方に出席いただき、首都圏での各会の活動状況や会員事情、今後の課題などについて活発に意見交換をすることができました。同窓会・同郷会と県人

はがき絵



日頃趣味としてのはがき絵を地域の方々と一緒に、近所で採れた野菜や果物を題材にスケッチをして楽しんでます。描く喜び、受け取る喜び、どちらもワクワクする瞬間です。野菜の生命力に思わず筆が運びます。(中谷俊乃)

編集後記

▼異常気象で今年は台風が沢山やって来た。これでもかこれでもかと、被災者には心からのお見舞いを申し上げます。▼秋の味覚サンマが一匹298円とか、ニッキッパと300円と聞くのとは違うらしい。▼詩句界の重鎮K氏から次の文面が届いた。「もう懲りたではないか。私の大好きな言葉に『忘己利他』がある。自分のことは後にして、他のひとに喜んでいただくことをするという言葉である」と。感じ入った。(遠藤隆司)